※令和５年川崎市数値は全て速報値です。人口 10/1 現在

編集・発行　令和６年８月
川崎区役所地域みまもり支援センター
（福祉事務所・保健所支所）衛生課
電話044（201）3204
FAX044（201）3291

医療機関の皆様へ

結核通信川崎区版

日頃から結核対策業務にご理解ご協力いただきまことにありがとうございます

テーマ　結核新規登録患者の「川崎区の特徴」「生活保護との関連」「外国籍患者との関連」

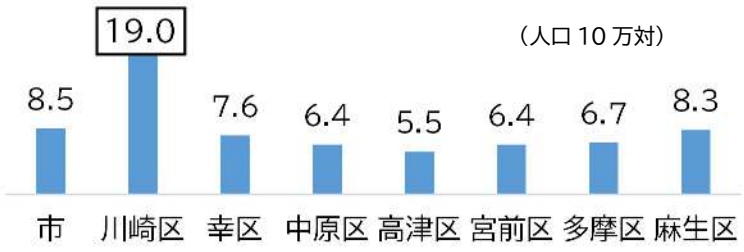
◆　近年結核罹患率は減少傾向ですが、令和5年は微増しました

令和４年、全国および川崎市の結核罹患率（人口 10 万対）はともに 8.2、令和５年川崎市の結核罹患率は 8.5 でした。

◆　川崎区の結核の現状と特徴

令和5年川崎市全結核罹患率

川崎区は市内で最も結核登録者が多くなっています

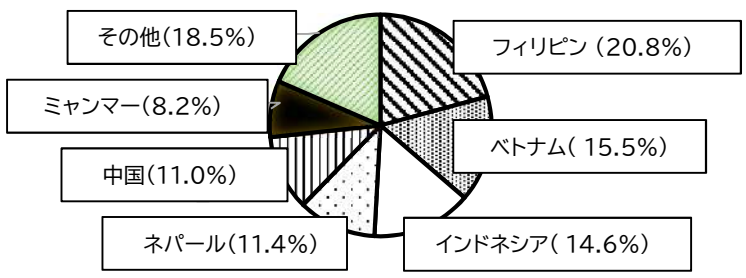


◆　外国生まれ結核患者の割合が高くなっています

令和５年　川崎区結核新規登録者のうち外国出生患者の特徴

- 割合：区内新規結核患者の 15.4%が外国生まれでした。
- うち最近５年以内に入国した割合が 50%でした。
- 外国生まれ患者の年齢層では、20－39 歳が 62.5%と若い方が多いため、 社会活動が活発であり、接触者が多くなる傾向にあり接触者健診による早期発見が重要です。
- 国別内訳：フィリピン、インド、ベトナム、ミャンマー、韓国

2022年外国出生新規登録患者の出生国（国内）



参考）結核の統計 2023

◆　新規登録患者の生活保護割合

結核登録情報システム
※生活保護申請中も含む

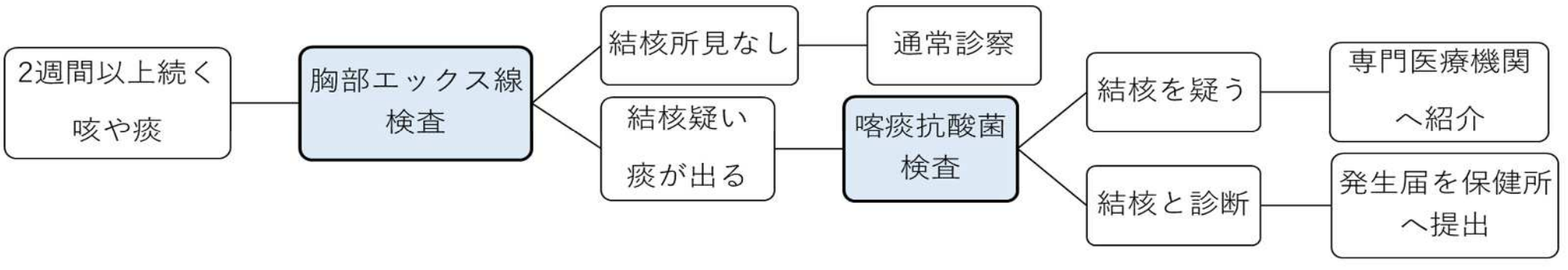
	R3	R4	R5
全国	6.5%	6.9%	
川崎市	15.2%	9.4%	6.1%
川崎区	**31.1%**	**23.1%**	**15.4%**

川崎区は新規登録患者の生活保護割合が全国や川崎市内の他区に比べて高いため「生活保護申請時健診」として、胸部エックス線検査を実施し、より一層結核対策に力を入れております。　この健診で実際に活動性結核の早期発見・早期治療に至っています。

◆　外国出生者の割合（%）

	R4	R5	R6 （R6.1.1～7.1 現在）
全国	11.9%		
川崎市	11.1%	19.8%	
川崎区	**23.1%**	**15.4%**	**31.6%**

川崎区では R6 年結核新規登録者のうち
3人に1人が外国籍の方です
（R6 は川崎区で独自に集計した数値です）

2週間以上の長引く咳、痰、微熱等が続いたら結核も疑ってみて下さい

- 「結核」に気付かずに悪化させてしまう、また、周囲の人に感染させてしまうケースがあります。
- ２週間以上の長引く咳、痰を認めたら、**胸部エックス線等の画像検査**の実施をご検討ください。
- 膿性痰がある場合は**喀痰抗酸菌検査**の実施をご検討ください。
- 80 歳以上の高齢者の罹患率は全年齢層平均の５倍と高いため、国は健診の重要性を強調しています。